

3・畑作地帯の家と家族

米村昭二（岡山大学）

家制度が稻作の生産構造や労働組織と大きくかかわっていることは、周知の事実である。

だとするならば、畑作地帯の家と家族は、どうなのか。はたして家制度は存在するのか。

もし存在するとするなら、それを支える社会経済的条件はなにか。また、存在しないとするならば、なぜか。などは当然考えられてよいテーマである。それなのに、畑作地帯の村や家族は、とかくデビアント・ケースとして無視されて来た嫌いがある。

したがって、本報告では、こうした視点から、畑作地帯の村である徳島県東祖谷山村中上、大西、それにもしあたら長崎県三井楽町岳を対象地に選び、隠居慣行、末子相続制下の家と家族を分析することにしたい。